

平成31年(2019年)

1月1日

10号



# 佃月島新聞

発行：編集人 佃月島新聞制作委員会 佐久間保人  
編集室 〒103-0014中央区日本橋蛎殻町1-5-1-3F ハートベルカンパニー株内  
電話：050-1746-8579 メール info@tsukutsuki.com HP tsukutsuki.com

新聞を応援いただいている企業サポーター 「ハートベルカンパニー 中央区蛎殻町不動産」「A-スタイル 武蔵野市広告代理店」「土井工芸 江東区イントリア内装」「ジャストリサーチサービス 中央区新川 マーケティングリサーチ」「ニュースター楽器 武蔵野市音楽教室」「キヨウカ 中野区弁当配達」「東京メンテナンス管理 中央区蛎殻町」「Cheers 港区社員教育・経営コンサルタント」「グッドマイナフ 新宿区訪問介護」「コミニカ印刷 春日都市」「三井住友建設(株) 中央区佃」「リバーシティすずき整形外科」「アイル女性クリニック 月島アイマークタワー」「加圧トレーニングスタジオ ピープル 佃3丁目」「もんじゃ近どう中央区月島」「月島長屋寄席」「エコライフサービス 品川区」その他個人サポーターの皆さんはホームページに掲載させていただきます。

後援をいただいている町会・自治会・団体 佃一丁目町会・佃2丁目町会・横浜自治会・佃リバーシティ自治会・コーチャタワー佃自治会・リバーシティ21.3号棟自治会・月島二之部町会・東京築地ロータリークラブ 敬称略12月15日現在

# 2019年 新年あけましておめでとうございます

シと録くをかめでにさのモの意見など、普通はメソードなどを飛び交う「議論」などを手段なのです。このように、「可視化」して記述するといふ、ちょっと不思議なコミュニケーション手段なのです。

佃月島新聞制作委員会の会員として、講師の話やメンバーや意見など、普通はメソードなどを手段で、自分たちが何かに役に立つと感じたそうです。でも文字でまとめるより内容がよくわかるのです。「グラフィック・レコード・ティング」という言葉を取る代りに、絵を描いているんです。でも文字でまとめるより内容がよくわかるのです。このように、「可視化」して記述するといふ、ちょっと不思議なコミュニケーション手段なのです。

佃月島新聞制作委員会の会員として、講師の話やメンバーや意見など、普通はメソードなどを手段で、自分たちが何かに役に立つと感じたそうです。でも文字でまとめるより内容がよくわかるのです。このように、「可視化」して記述するといふ、ちょっと不思議なコミュニケーション手段なのです。



提供 協働ステーション中央



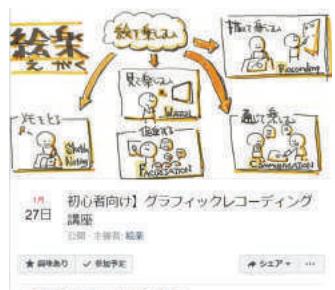
作者「つくつき家族」  
本園大介さん  
ちゃんとした  
サラリーマンです

編集長との出会いはもう3年以上も前のことでした。協働ステーション中央へ小伝馬町会テークブルで変な人と出会いました。本園さんは「74年生まれ、大手通信会社に勤務。小さい頃から絵が好きで、「ミニニケンショーン」が苦手な子どもが好きで、だつたそうです。好きなアーティストは「サザンイモンとガーファンクル」。楽曲の詩集をボロボロになりますまで手放さなかった少年時代でした。編集長もこの詩集を持っています。



「絵楽（えがく）」とは、絵を楽しみ、そして絵だけではなくいろいろなものを描くといった意味を込めて命名しました。多くの人に、線を引く、曲線を引く楽しさを」

1月の開催は27日（日曜）14時～17時協働ステーション中央で行われました。次回は2月24日（日曜）14時～17時協働ステーション中央で行われます。次回は2月24日（日曜）14時～17時協働ステーション中央で行われます。



協働マガジン11月号は本園さんの特集協働ステーション中央の広報紙に本園さんが紹介されています。はじめてグラレコに目覚めたエピソードや複数の情報を次回のフェスティバルで紹介されました。次回は2月24日（日曜）14時～17時協働ステーション中央で行われます。次回は2月24日（日曜）14時～17時協働ステーション中央で行われます。

「グラレコ」はその場で主催者や参加者に差し上げられます。作品としてまとめられるわけではありません。でもこれまでのグラレコは本園さんFBに投稿されています。ぜひご覧ください。



絵楽の詳しい活動はをご覧ください。  
本園さんの描いた「グラレコ」はその場で主催者や参加者に差し上げられます。作品としてまとめられるわけではありません。でもこれまでのグラレコは本園さんFBに投稿されています。ぜひご覧ください。

つくり家族も元気に新年を迎えるました

「絵楽（えがく）」の活動を広げています





